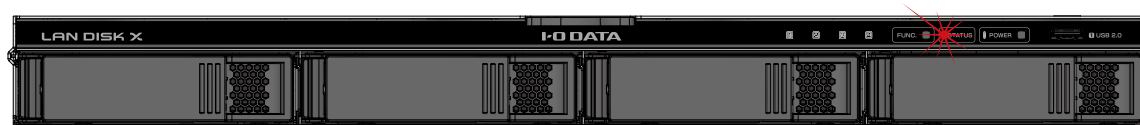


管理マニュアル

LAN DISK

HDL-X-U シリーズ

すぐ取り出せる場所に保管してください



ランプが赤く光ったら、この冊子をご覧ください

ランプの点灯やブザーから問題を把握したり、故障したカートリッジを交換する方法が記載されています。

いざというときに手に取れる場所に保管してください。

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

注意事項など 本製品を使う上で、お守り いただきたいご注意です。 必ずお読みください。	使う前に 本製品の使用目的 3 使用説明の構成 3 安全のために 4 使用上のご注意 6 添付品を確認する 8 オプション HDD、対応 HDD/UPS 9 各部の名称・機能 10
初期設定 本製品の設置・導入方法です。	基本的な使い方 ステップ 1：設置し、電源を入れる 13 ステップ 2：本製品の設定をする 18 ステップ 3：パソコンからアクセスする 26
詳細設定 その他の設定です。必要に 応じてご確認ください。	便利な使い方 データを守る（バックアップ） 30 機能を追加する（アドオンパッケージ） 31 機能一覧 32 本製品の容量を増やす 36
故障時の対応・資料 故障時の対応や、その他本 製品の資料情報です。 必要に応じてご覧ください。	ランプと対処 故障と思ったら 38 カートリッジの交換方法 42
	資料 添付ソフトについて 43 アフターサービス 44 ハードウェア保証規定 46

【本製品の使用目的】

本製品は、ネットワーク HDD（NAS）です。
データファイルを本製品に保存し、ネットワーク上で共有できます。
※本製品は屋外に設置しないでください。

【使用説明の構成】

本製品の使用説明には、次のものがあります。

◇管理マニュアル（本書）
本製品の初期設定方法、故障時の対応を説明しています。

◇画面で見るマニュアル
バックアップ設定など、その他の設定について説明しています。
画面で見るマニュアルは、本製品の設定画面左上の [マニュアル] から開くことができます。



◇パッケージ（追加機能）取扱説明書
本製品の追加機能の説明は、上記「画面で見るマニュアル」とは別の Web マニュアルになっています。

https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-aa_package/



最新のマニュアルは、弊社サポートライブラリでご覧いただけます

<https://www.iodata.jp/p/224028>

上記にアクセスしてください。

スマートフォンなどでも閲覧できます。⇒

※上記は HDL4-X4-U のページですが、マニュアルの内容はシリーズ共通です。



※本体とパッケージ（追加機能）のマニュアルは別になっております。ご注意ください。



安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼警告・注意表示


	警告 この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことがあります。
	注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼絵記号の意味


	禁止		指示を守る
---	----	---	-------

⚠ 警告


本製品を修理・改造・分解しない

 発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。


故障や異常のまま、つながない

 本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。


雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない

 感電の原因になります。


本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ず本製品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてからおこなう

 電源コードを抜かずにおこなうと、感電の原因になります。


電源コードや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない

 水や洗剤などが電源コードや本製品にかかる、隙間からしみ込み、発火・感電の原因になります。
 ・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
 ・水の入ったもの（コップ、花瓶など）を上に乗らないでください。
 ・万一、電源コードや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。


煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める

 そのまま使用すると発火・感電の原因になります。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない


 発火の原因になります。

本製品の小さな部品（ネジなど）を乳幼児の手の届くところに置かない


 誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

⚠ 警告 ●電源（コード・プラグ）について


電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない

 電源コードから発煙したり、発火の原因になります。


添付の電源コードは、他の機器につながない

 発火や感電の原因になります。添付の電源コードは、本製品専用です。


AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントにつながない

 発火、発熱のおそれがあります。


コンセントまわりは定期的に掃除する

 長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）
 トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。


熱器具のそばに配線しない

 電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。


電源コードにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない

 電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。電源コードの芯線（電気の流れるところ）が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。


煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く

 そのまま使うと発火・感電の原因になります。


ゆるいコンセントにつながない

 電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して発火の原因になります。


じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない

 発火の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない


 電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると傷が付き、発火や感電の原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない


 テーブルタップの定格容量（1500Wなどの記載）を超えて使用するとテーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⚠ 注意

本製品を踏まない

 破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

人が通行するような場所に配線しない

 足を引っ掛けると、けがの原因になります。

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

使用上のご注意

《重要》データバックアップのお願い

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。

万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」をおこなってください。

本製品または接続製品の保存データの破損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをする事もできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（HDD・BD・DVD など）にデータの複製を作成することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることを「バックアップ」と言います。）

万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップを行ってください。

最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

【ファームウェアの更新について確認する】（25 ページ）

本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

- ハードディスクに記録されたデータは、OS 上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業をおこなっただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。

※ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

- NarSuS に登録している場合は、製品登録情報を削除してください。
- 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

本製品はローカルネットワーク上でご利用ください

本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。

ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。

お手入れについて

本製品についての汚れなどを落とす場合は、本製品の電源を切り、電源コードを抜いてから、柔らかい布で乾拭きしてください。

- 汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭く。
- ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わない。変質したり、塗装をいためたりすることがあります。
- 市販のクリーニングキットは使わない。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

添付品を確認する

- 電源コード (1 本)
- AC プラグ変換アダプター (1 個)
- LAN ケーブル (2 本)
- USB ロックキーシール (2 枚)
- マスターキー保存用 USB メモリー (1 本)
※本製品の暗号化機能を利用する際に使用します。詳しくは、本製品の【画面で見るマニュアル】をご覧ください。
- 管理マニュアル (本書)
- ActiveImage Protector Desktop Edition のご案内 (1 枚)
- ラックマウントレール (1 式)
※内容物は、【ラックマウントレール取り付け前の準備】(13 ページ) をご覧ください。

ユーザー登録はこちら…<https://ioportal.iodata.jp/>

ユーザー登録にはシリアル番号 (S/N) が必要となりますので、メモしてください。
 シリアル番号 (S/N) は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。
 (例: ABC1234567ZX)



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

オプション HDD、対応 HDD/UPS

オプション HDD

以下の弊社ホームページをご確認ください。

https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/nas_hdd.htm



ご注意

- オプション HDD には、システムはインストールされていません。
- 拡張ボリューム (出荷時設定) で使っている場合、容量をあとから増やすことができます。大きな容量のカートリッジへの交換方法は、【本製品の容量を増やす】(36 ページ) をご覧ください。
- RAID 6、RAID 5、RAID 0 の場合は、本製品の容量をあとから増やすことはできません。

対応外付 HDD

以下の弊社ホームページをご確認ください。

<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm>



ご注意

- 外付 HDD をはじめて本製品に接続して使用する場合は、必要に応じてフォーマットをおこないます。

対応 UPS

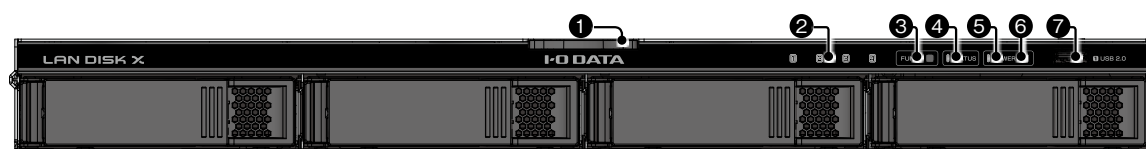
以下の弊社ホームページをご確認ください。

<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/ups.htm>



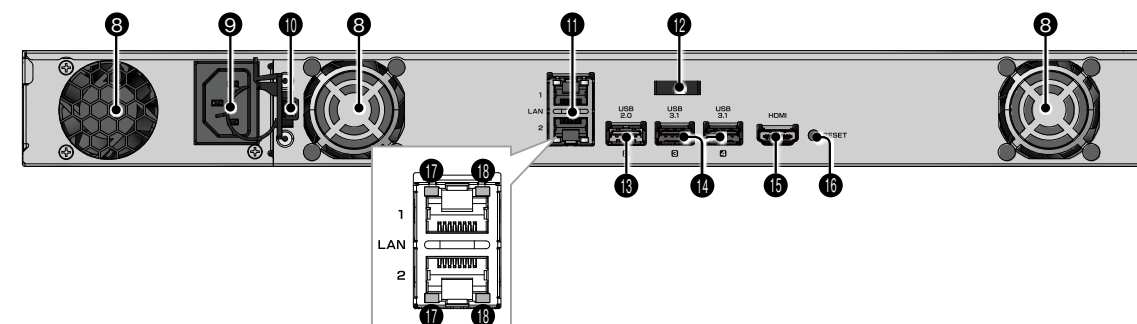
各部の名称・機能

前面



① 情報タグ	本製品のシリアル番号、MAC アドレスが確認できます。
② HDD ランプ 1～4	各 HDD の状態を表します。【ランプと対処】(38 ページ) 参照
③ FUNC. ボタン	クイックコピー機能を実行する際に押します。 また、エラー発生時にブザーが鳴りつづけている時に押すと、ブザーを停止します。
④ STATUS ランプ	本製品の状態を表します。【ランプと対処】(38 ページ) 参照
⑤ POWER ランプ	本製品の電源状態を表します。【ランプと対処】(38 ページ) 参照
⑥ POWER ボタン	本製品の電源を ON/OFF します。
⑦ USB ポート 1	USB HDD などをつなぎます。(USB 2.0) 主にクイックコピー機能や、本製品の暗号化機能で使します。

背面



⑧ ファン	冷却用ファンです。ふさがないでください。	
⑨ AC-IN	添付の電源コードをつなぎます。	
⑩ 電源コードフック	電源コードが抜けないように引っ掛けるフックです。	
⑪ LAN ポート 1、2	添付の LAN ケーブルを接続します。	
⑫ USB ケーブルフック	USB HDD をつないだ際に、USB ケーブルが抜けないように引っ掛けるフックです。	
⑬ USB ポート 2	USB HDD などをつなぎます。(USB 2.0)	
⑭ USB ポート 3、4	USB HDD などをつなぎます。(USB 3.1)	
⑮ HDMI コネクタ	使用しません。	
⑯ RESET スイッチ	IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻します。	
⑰ 1000 ランプ	黄緑点灯	1000BASE-T で LINK 中
	黄緑点滅	1000BASE-T でデータを送受信中
	消灯	1000BASE-T では未接続
⑱ 100/10 ランプ	橙点灯	100BASE-TX/10BASE-T で LINK 中
	橙点滅	100BASE-TX/10BASE-T でデータを送受信中
	消灯	100BASE-TX/10BASE-T では未接続

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

基本的な使い方

次の3ステップで、データをパソコンから本製品に保存し、他のパソコンと共有できるようになります。

【ステップ1：設置し、電源を入れる】（13 ページ）

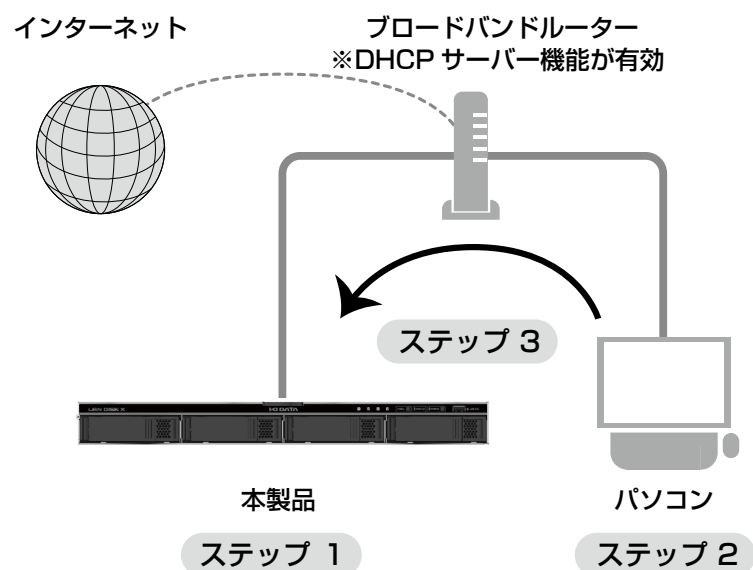


【ステップ2：本製品の設定をする】（18 ページ）



【ステップ3：パソコンからアクセスする】（26 ページ）

使用環境例



ブロードバンドルーターなどの DHCP サーバー機能をご確認ください

事前にご利用のネットワーク環境で DHCP サーバー機能が有効になっていることをご確認ください。

(ネットワーク管理者にご確認ください。)

DHCP サーバー機能が無効な場合は、本製品をネットワークに参加させるための適切な IP アドレスを取得し、本製品に設定してください。

※ IP アドレスは、【ステップ2】の「初期設定」の [ネットワーク] タブで設定します。

(【管理者パスワード設定と初期設定をする】(21 ページ) 参照)

※一般的なブロードバンドルーターは DHCP サーバー機能が有効となっているため、IP アドレスの設定は必要ありません。

ステップ1：設置し、電源を入れる

ラックマウントレール取り付け前の準備

1 ラックマウントレール一式を確認する

- ラックマウントレール用内装箱
- スライドレール (2 本)
- ・ネジ袋内
- M4x4 ネジ (2 本) □ M5x10 ネジ (2 本) □ ワッシャー (2 個)

2 以下のものを準備する

- 別途ご用意いただくもの
- プラス (+) ドライバー □手袋
- ※ケガ防止のため、手袋の着用をおすすめします。

3 以下を確認する

- ・本製品の電源が OFF になっていること (POWER ランプが消灯)
- ・本製品の電源コードがコンセントから抜かれていること

上記を確認できたら取り付けます。次ページへお進みください。

使う前に

基本的な使い方

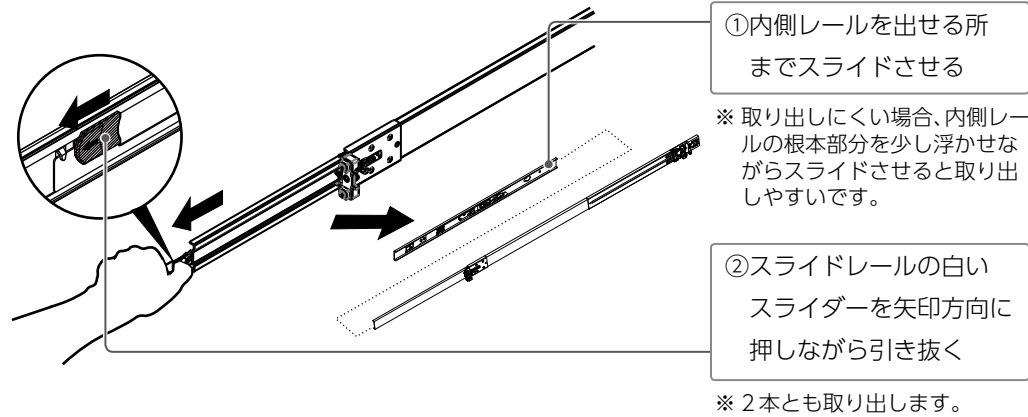
便利な使い方

ランプと対処

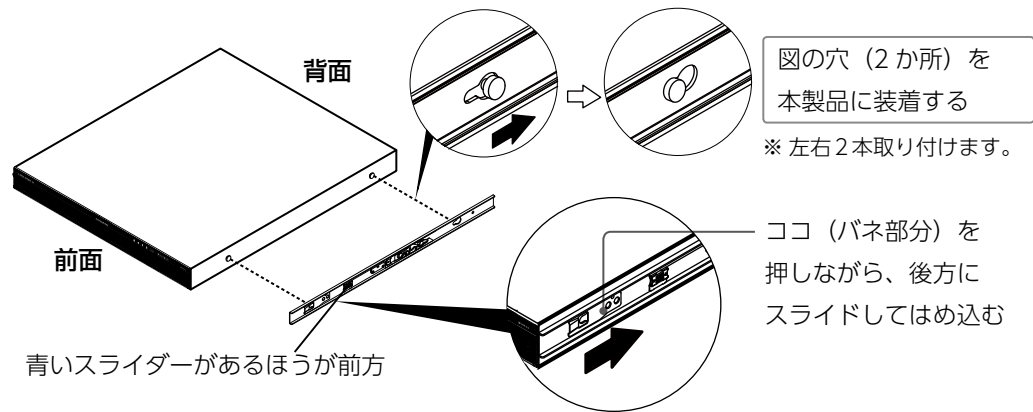
資料

ラックマウントレールを取り付ける

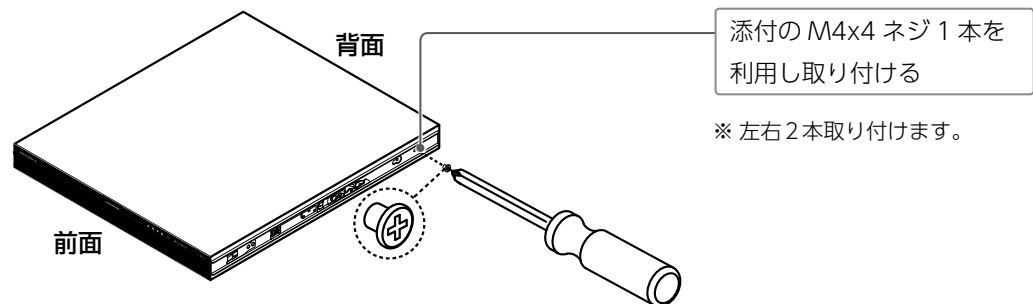
1 スライドレールの内側レールを取り外す



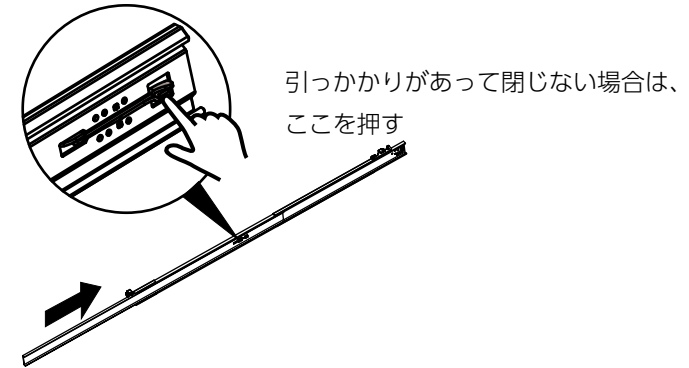
2 取り外した内側レールを本製品にネジ留めする



3 取り外した内側レールを本製品にネジ留めする

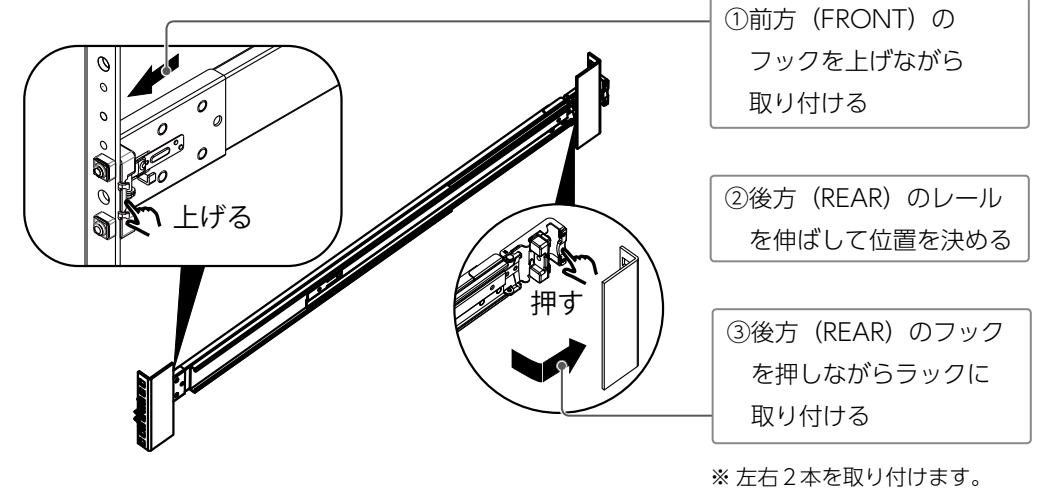


4 外側レールを閉じる

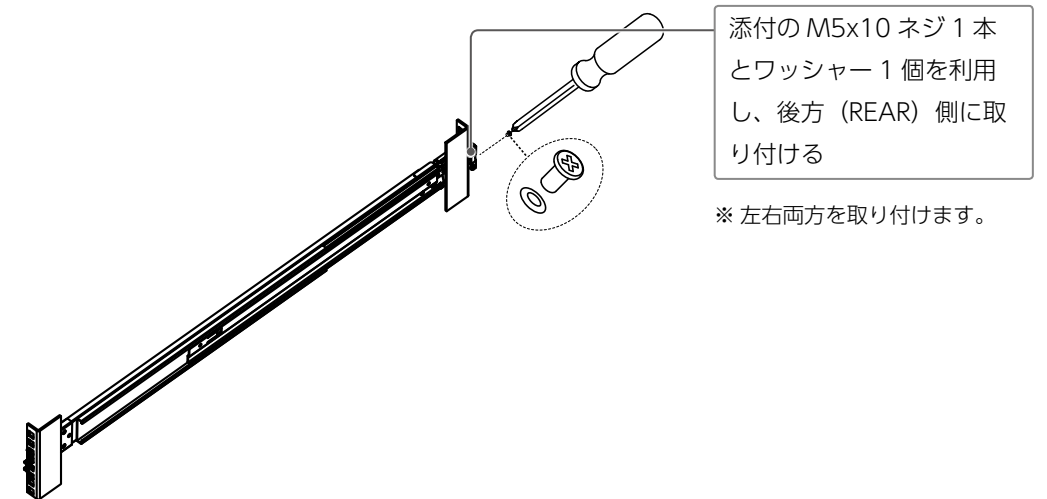


※ 左右2本とも閉じます。

5 ラックに外側レールを取り付ける



6 外側レール後方をラックにネジ留めする



使う前に

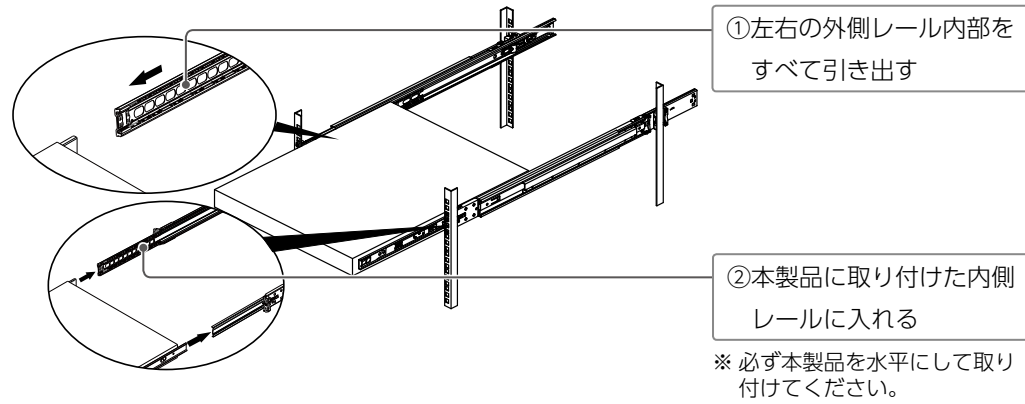
基本的な使い方

便利な使い方

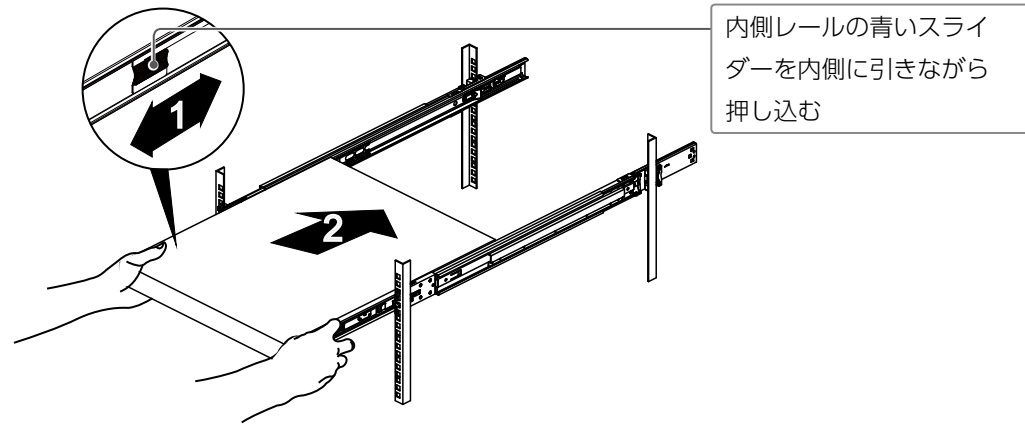
ランプと対処

資料

7 本製品をラックの外側レールに取り付ける



8 本製品をラックに収納する



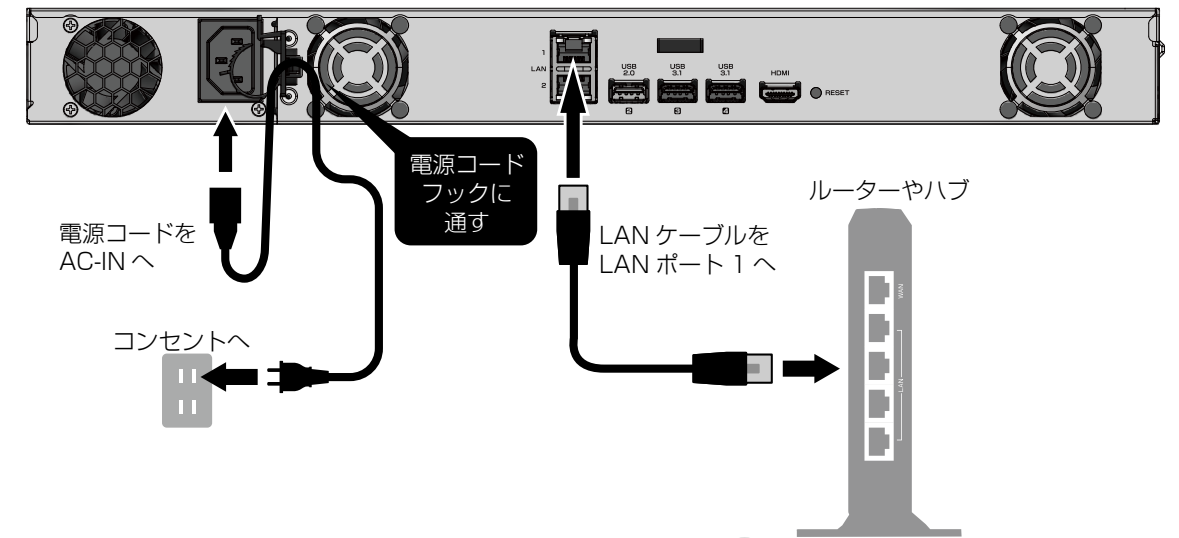
以上で、ラックマウントレールの取り付けは完了です。
次ページへお進みください。

ラックから取り外す場合のご注意

レールを取り外す場合は、以下にご注意ください。

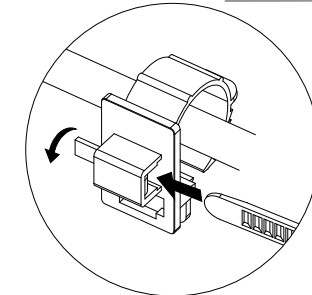
- 最初に本製品を取り外します。本製品は、内側レールの白スライダーを引いて取り外します。
- 内側レールのバネの箇所は手を挟みやすいのでご注意ください。取り外す際も手袋の着用をおすすめします。

ケーブルをつなぐ



電源コードフックの使い方

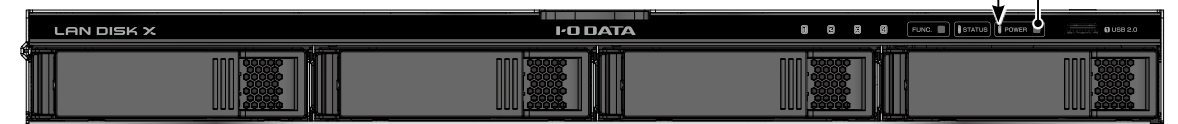
電源コードが不意に抜けることを防ぐために、必ず電源コードフックをご利用ください。フックの輪の部分を出す際は、図のレバーを上げながら引き出します。



電源を入れる

POWER ボタンを押す

“ピッ”と鳴り、POWER ランプが点滅…
“ピー”と鳴ったら、起動完了です。



赤点灯し、「ピー」×3回鳴った場合

DHCP サーバーから IP アドレスを取得できていません。【IP アドレスが取得できていない場合】(41 ページ) をご覧ください。

赤点滅した場合

【故障と思ったら…】(38 ページ) をご覧ください。

ご注意：電源を切る場合


POWER ボタンを“ピッ”と鳴るまで押すと、ランプが点滅します。電源が切れたら、ランプが消灯します。(ピッ”と鳴ったあとも長押しを続けると、強制シャットダウンになります。)
また、ランプが消える前に、絶対に電源ケーブルを抜かないください。故障の原因になります。

ステップ 2：本製品の設定をする

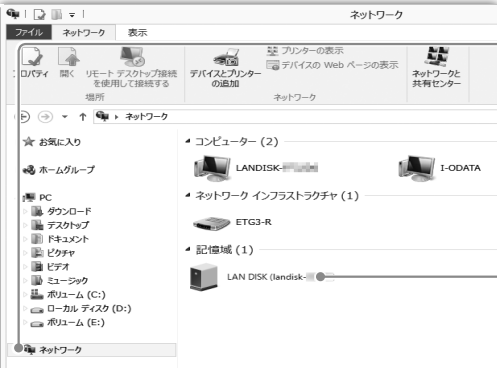
導入用ソフトウェアをインストールする

設定画面を開くためのソフトウェアをインストールします。
Windows では「LAN DISK コネクト」、macOS では「Magical Finder」をインストールします。
上記ソフトウェアをインストール済みの場合、【設定画面を開く】(20 ページ)へお進みください。

● Windows の場合 ※ macOS の場合は、次ページ参照

1  をクリック

※ Windows Vista では、
[スタート] → [コンピュータ] をクリックします。

2  [ネットワーク] をクリック

記憶域の [LANDISK-xxxxxx] をダブルクリック

※ 「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています」と表示された場合は、再度アイコンをダブルクリックしてください。

「記憶域」や [LANDISK-xxxxxx] が表示されない場合

以下をお試しください。

- 画面内の白いところを右クリックし、[グループで表示] → [カテゴリ] をクリックする
または、[最新の情報に更新] をクリックする
- セキュリティソフトのファイアウォール機能を一時的に解除する
- 画面上部にネットワーク探索が無効と表示された場合は有効にする
- 弊社 Web ページ「サポートライブラリ」から LAN DISK コネクトをダウンロードしてインストールする

<https://www.iodata.jp/r/5160>

3  [セットアップスタート] をクリック

4  [実行] をクリック

ユーザーアカウント制御が表示されたら

 [はい] をクリック

インストールが完了すると、
デスクトップ上に [LAN DISK] アイコンが表示されます。
次に【設定画面を開く】(20 ページ)へお進みください。



LAN DISK

● macOS の場合

Magical Finder をインストールする

弊社 Web ページ「サポートライブラリ」からダウンロードし、インストールしてください。

<https://www.iodata.jp/r/2118.htm>

次に【設定画面を開く】(20 ページ)へお進みください。

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

設定画面を開く

● Windows の場合

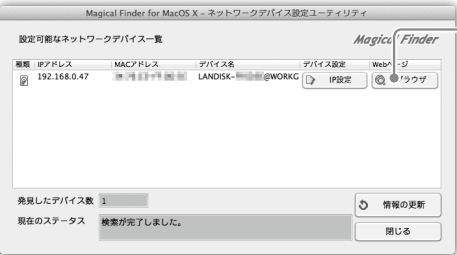
1  デスクトップ上の [LAN DISK] をダブルクリック
⇒ LAN DISK コネクトが開きます。

2  [LANDISK-xxxxxx] を右クリック
[設定画面を開く] をクリック

次に、【管理者パスワード設定と初期設定をする】(21 ページ) へお進みください。

● macOS の場合

1 インストールした「Magical Finder」を開く


2  [ブラウザ] をクリック


次に、【管理者パスワード設定と初期設定をする】(21 ページ) へお進みください。

管理者パスワード設定と初期設定をする

はじめて設定画面を開いた時は、最初に管理者 (ユーザー名:admin) のパスワードを設定し、初期設定へ進みます。

※ 初期設定の内容は、後から設定画面で変更できます。

1  何も入力せずに、
[ログイン] をクリック

2  2つの欄に同じ管理者
パスワードを入力する
※ 4 ~ 20 文字 (半角英数記号)
[適用] をクリック

管理者 (admin) について

管理者パスワードを使うと、本製品の全設定やすべての共有 (全員共有、ユーザー共有、グループ共有) にアクセスできます。

※ パスワードは漏れないようにしっかり管理し、定期的に変更してください。

※ すべての共有にアクセスできるのは、Windows からのみです。

※ 管理者パスワードは、次の場合などに使います。

- ・本製品の設定画面を開く
- ・LAN DISK コネクト、Magical Finder から IP 設定する
- ・管理者として共有フォルダーにアクセスする

※ 管理者パスワードを忘れてしまった場合は、リセットボタンを押します。管理者パスワードとネットワーク設定が出荷時設定に戻ります。

3  [初期設定を保持する] を
クリック
※ 各タブの設定は、基本的に変更しなくても利用できます。

各タブの設定内容

タブ	内容
名前	本製品の名前、説明、設置場所を設定できます。名前を変更した場合は、ネットワーク上で表示される本製品の名前が変わります。
ネットワーク	本製品の IP アドレス設定ができます。(IPv4 のみ)
Microsoft ネットワーク	本製品が参加するネットワークを設定できます。
時刻	本製品の時刻設定ができます。
内蔵ボリューム	本製品の RAID モードの変更や暗号化の設定ができます。
省電力	本製品の省電力設定ができます。
電源スケジュール	本製品の起動時刻、終了時刻のスケジュール設定ができます。

次に【NarSuS 登録をする】(22 ページ) へお進みください。

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

トラブルと対処

資料

NarSuS 登録をする

NarSuS（ナーサス）とは？

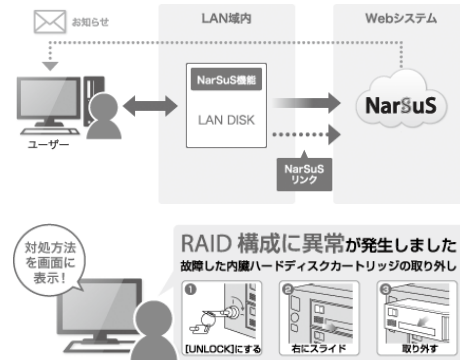
「NarSuS（ナーサス）」とは、製品の状態をインターネット経由で管理できるクラウド管理機能です。お客様に代わって NarSuS データセンターが製品の状態を把握し、万が一の障害をいち早く察知し通知します。

- 製品と離れたところからでも状態を確認
Web 上の管理画面なので、どこからでも状態を確認できます。

- トラブル時にすばやくメールでお知らせ
製品にトラブルが発生したら、NarSuS データセンターが状態を察知し、NarSuS データセンターからメールでトラブルをお知らせします。

- トラブル対処ガイダンス
トラブル発生の際に状況に合わせた対応ガイドを表示します。イラスト付きのガイドにしたがって操作するだけで、難しいバックアップの再構築や HDD 交換など、迷うことなく対処できます。

- セキュリティへの配慮
NarSuS の通信は、製品から NarSuS データセンターへ、HTTPS で暗号化された一方通行の送信をおこなっています。そのため NarSuS データセンター側から、直接製品に接続することはありません。また、製品から送信するデータは、製品の稼働情報のみであり、利用されているユーザーの情報やユーザーデータ（ファイルなど）が送信されることはありません。



NarSuS のご利用環境

- 対象製品の設置環境
インターネット接続可能な環境でご利用いただけます。
※ https で通信するため、ポート 443 の解放が必要です。
※ Internet Explorer でご利用の場合、[インターネット オプション] → [セキュリティ] を開き、[信頼済みサイト] に "https://www.narsus.jp" を登録しておいてください。
※ NarSuS は、IPv4 ネットワークでのみ使えます。
- 対象製品の設置環境
以下の各 Web ブラウザーの最新バージョンをご利用ください。
・ Internet Explorer (IE8 以上) ・ Chrome ・ Firefox ・ Safari ・ Microsoft Edge

[初期設定] 画面を閉じると、下の画面が表示されます。

- 1 **LAN DISKの安定動作のために必ずご確認ください。**
本製品は、クラウド状態管理(NarSuS(ナーサス))に対応しています。...
[登録] をクリック
※ [後で登録] をクリックすると、画面を閉じますが、次回もこの画面が表示されます。
- 2 **NarSuS利用の準備**
プロキシサーバーの設定が必要な場合...
[NarSuS を利用] をクリック
● プロキシサーバーの設定
インターネット接続にプロキシサーバーの設定が必要な場合は、この画面で設定できます。
- 3 **NarSuS登録**
NarSuSの登録状況でどちらかを
クリック
- 4 画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する
※本製品は LAN ポートが複数ありますが、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。
- 5 登録が完了したら、Web ブラウザーを閉じる

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。以上で NarSuS 登録は完了です。

ご注意

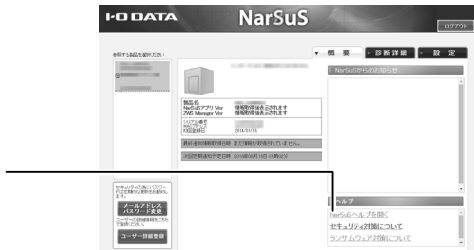
- 登録に失敗した場合、以下をご確認ください。
 - ・本製品がインターネットに接続可能な環境に設置されていること（LAN ケーブルが正しく接続されていること）
 - ・プロキシを介してインターネットへ接続する場合は、プロキシが正しく設定されていること
 - ・本製品の TCP/IP 設定を手動でおこなっている場合は、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーが正しく設定されていること
 - ・お使いの Web ブラウザーのキャッシュ（Cookie）をクリアして再度お試しください。

NarSuS の利用方法

以下 URL にアクセスしてください。

<https://www.narsus.jp/>

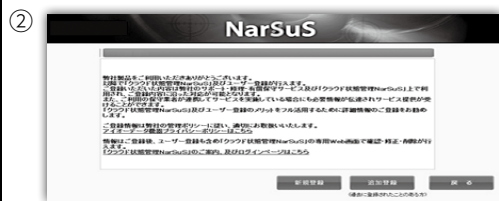
NarSuS へログイン後、[NarSuS ヘルプを開く] をクリックすると、NarSuS ヘルプをご覧いただけます。



インターネットに接続できない場合の登録方法

①インターネットに接続できるパソコンで Web ブラウザーを起動し、次の URL にアクセスする

<https://www.narsus.jp/user-reg>



NarSuS の登録状況で選択してクリック
 ※追加で登録する場合は、ログイン後 [製品追加登録] をクリックします。

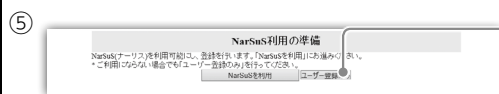
③画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する

※本製品は LAN ポートが複数ありますが、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。



利用コードをメモする
 ※送付されるメールにも記載されています。

【ここから、本製品の設定画面】



[ユーザー登録のみ] をクリック



メモした利用コードを入力
 [保存] をクリック

ファームウェアの更新について確認する

- 本製品がインターネットに接続できる場合
 本製品は、ファームウェアの自動更新機能が有効に設定されています。そのため、常に最新のファームウェアでお使いいただけます。
- 本製品がインターネットに接続できない場合
 以下の手順で更新してください。

1 本製品の最新ファームウェアを入手する

最新ファームウェアの更新方法

以下の弊社 Web ページにアクセスし、本製品の型番で検索します。

<https://www.iodata.jp/lib/>

2 本製品の設定画面を開く

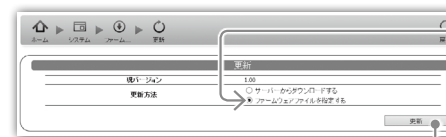
※【設定画面を開く】(20 ページ) 参照

3



[システム] → [ファームウェア] → [更新] をクリック

4



[ファームウェアファイルを指定する] を選ぶ

[更新] をクリック

5



ファイルを指定する

[実行] をクリック

次に、ステップ 3 へお進みください。

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

ステップ3：パソコンからアクセスする

アクセス用ユーザーを作成し、アクセス権を設定する

パソコンから本製品にアクセスするために必要なユーザーを作成します。

登録するユーザーについて

ネットワーク（パソコン）にログオンする際の [ユーザー名] と [パスワード] で登録すると、本製品へのアクセス時にユーザー名とパスワードの入力が不要になります。

1 本製品の設定画面を開く

※【設定画面を開く】(20 ページ) 参照

2



[ユーザー&グループ] → [ユーザー] → [追加] をクリック

3



任意の [ユーザー名]、[パスワード]、[パスワード]（確認）を入力
※ ユーザー名/パスワードともに、1～20文字(半角英数記号)

[追加] をクリック
⇒アクセス用ユーザーが作成されます。

次に、作成したユーザーに「disk1」フォルダーへのアクセス権をつけます。

4



[ホーム] をクリック

5



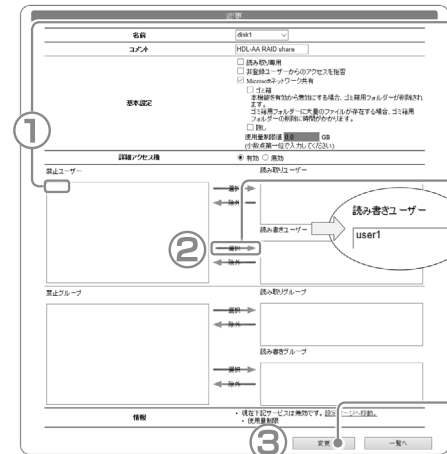
[共有] → [フォルダー] → [一覧] をクリック

6



disk1 の [変更] をクリック
※ disk1 は、ご購入時に設定されている通常使用のための共有フォルダーです。

7



[禁止ユーザー] にある手順3で作成したユーザーをクリック

[読み書きユーザー] の [選択] をクリック
⇒ [読み書きユーザー] に移ります。
※ その他の設定は不要です。

[変更] をクリック

次に、【共有フォルダーにアクセスできることを確認する】(28 ページ) へお進みください。

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

共有フォルダーにアクセスできることを確認する

● Windows の場合

- 1 デスクトップ上の [LAN DISK] をダブルクリック
⇒ LAN DISK コネクトが開きます。



ユーザー名、パスワードを求められたら

【アクセス用ユーザーを作成し、アクセス権を設定する】(26 ページ) で設定したアクセス用ユーザーのユーザー名、パスワードを入力します。

アクセスできない場合は画面で見るマニュアルをご確認ください

https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl4-x-u_manual/index.html#p15_3

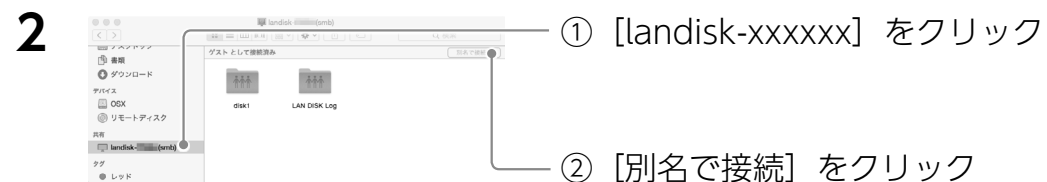


これで、データを読み書きできます。
パソコン 1 台でご利用の場合は設定完了です。

この後の設定について

- 2 台目以降のパソコンでご利用の場合も、【ステップ3：パソコンからアクセスする】(26 ページ) 以降の手順でユーザーを作成してください。
- 本製品に保存したデータを守るためにバックアップを設定してください。
バックアップについては、【データを守る (バックアップ)】(30 ページ) をご覧ください。

● macOS の場合

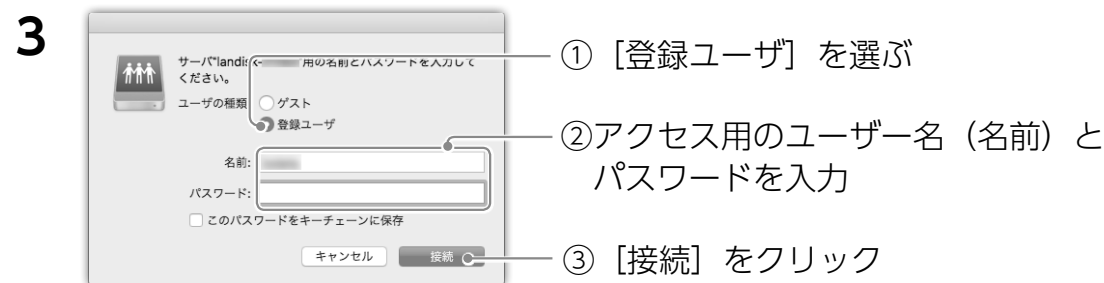


【LANDISK-xxxxxx】が表示されない場合

本製品から LAN ケーブルを抜き、ゆっくり 4 秒数えてから再び LAN ケーブルをつないでください。

それでも表示されない場合は、[移動] メニュー → [サーバへ接続] を開き、「サーバアドレス」に [LANDISK-xxxxxx] ※と入力して [接続] してください。

※ xxxxxx は、本製品のシールに記載の MAC アドレス下 6 桁です。



アクセスできない場合は画面で見るマニュアルをご確認ください

https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl4-x-u_manual/index.html#p15_3



これで、データを読み書きできます。
パソコン 1 台でご利用の場合は設定完了です。

この後の設定について

- 2 台目以降のパソコンでご利用の場合も、【ステップ3：パソコンからアクセスする】(26 ページ) 以降の手順でユーザーを作成してください。
- 本製品に保存したデータを守るためにバックアップを設定してください。
バックアップについては、【データを守る (バックアップ)】(30 ページ) をご覧ください。

便利な使い方

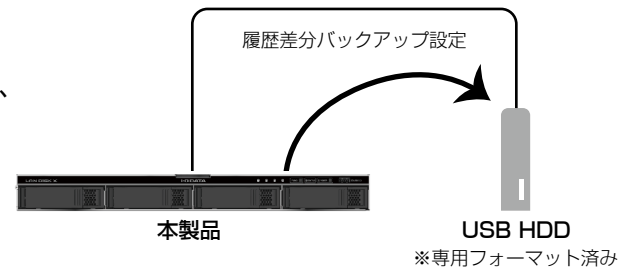
データをを守る (バックアップ)

同じデータを2か所に保存することで、万一の故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えます。
不測の事態に備えるために、バックアップしておくことをおすすめします。

●おすすめのバックアップ方法

別売のUSB HDD を本製品に増設し、履歴差分バックアップします。

※対応のUSB HDDについては、【対応外付HDD】(9ページ)をご覧ください。



履歴差分バックアップとは

バックアップした時点でのファイルやフォルダーの構造が日付ごとに丸ごと残ります。
ファイルを間違えて消したり更新してしまった場合に、日付を指定して復元することができます。

- 1 本製品の設定画面を開く ※【設定画面を開く】(20ページ) 参照
- 2 [ボリューム] → [USBx] → [フォーマット] をクリック
※ [USBx] の x は、取り付けられた USB HDD の接続ポート番号です。
- 3 ① 【専用フォーマット】にチェック
② 【実行】をクリック
⇒フォーマットを実行します。
※フォーマットの開始/終了時は、共有へのアクセスはできません。ユーザーが本製品にアクセスしていないことを確認してから実行してください。
- 4 [データバックアップ] → [バックアップ] → [追加] をクリック
- 5 増設した USB HDD をバックアップ先にしてジョブを追加する
[履歴数] と [スケジュール] を指定しバックアップジョブを追加します。
バックアップジョブの追加方法は、画面で見るマニュアルの【データをバックアップする】をご覧ください。(32ページのリンク先参照)

以上で、指定した日時に履歴差分バックアップが実行されます。

機能を追加する (アドオンパッケージ)

本製品には、さらに別の機能を追加することができます。

パッケージ名	機能
AppleShare	macOS から AppleShare ネットワーク共有へのアクセス
Remote Link 3	外出先からインターネットを介してアクセス
FTP	FTP クライアントよりアクセス
クラウドストレージ連携	以下のクラウドストレージと同期 (Amazon S3 / Microsoft Azure / Box / Cloud ⁿ / Dropbox / Microsoft OneDrive / Microsoft OneDrive for Business)
レプリケーション	メイン機と予備機の共有フォルダーを同期し、同じ状態に保つ
クローン	マスター機の設定やファイルをスレーブ機に保存
Trend Micro NAS Security	トレンドマイクロ社の NAS 向けアンチウイルス機能を提供
ESET File Security	ESET (イーセツト) 社の NAS 向けウイルス対策ソリューション「ESET File Security」を適用
H/XR/XV 移行	弊社製 HDL-H、XR、XV の各シリーズから本製品にデータや設定を移行

▼最新情報、オフライン環境での追加方法ははこちら

https://www.iodata.jp/product/nas/info/landisk/hdl-h_package.htm



●パッケージの追加方法

- 1 本製品の設定画面を開く ※【設定画面を開く】(20ページ) 参照
- 2 [システム] → [パッケージ管理] → [追加] をクリック
- 3 ①追加するパッケージにチェック
②【追加】をクリック

以上で、パッケージが追加されました。

ご利用方法は、各パッケージ取扱説明書をご覧ください。(次ページのリンク先参照)

機能一覧

本製品には以下の機能があります。
詳しい設定方法は【画面で見るマニュアル】をご覧ください。



https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl4-x-u_manual/

追加機能については、【パッケージ取扱説明書 (HTML)】をご覧ください。



https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-aa_package/

◇共有フォルダー関連

機能 (目的)	使用・設定方法	画面で見るマニュアル参照先
ユーザー、グループを追加する	ユーザーグループ → ユーザー → グループ → 追加	【共有設定する】
共有フォルダーを追加する	共有 → フォルダー → 追加	【共有設定する】
削除したファイルを一時的に保管する	共有の追加・変更で設定	【ゴミ箱機能】
CSV ファイルを利用して共有を一括登録	一括登録 → .CSV → CSV一括登録	【一括登録する】
使う容量を制限する	システム → サービス設定	【使用量制限を有効にする】
ユーザーの使用量を制限する	ユーザーグループ → ユーザー → 使用量制限	【ユーザーごとに使用量制限を設定する】
グループの使用量を制限する	ユーザーグループ → グループ → 使用量制限	【グループごとに使用量制限を設定する】
フォルダーの使用量を制限する	共有 → フォルダー → 使用量制限	【共有フォルダーごとに使用量制限を設定する】

◇パッケージ (追加機能)

機能を追加する (パッケージ追加)	システム → パッケージ管理 → 追加	【機能を追加する (パッケージ)】
-------------------	---------------------	-------------------

◇バックアップ関連

機能 (目的)	使用・設定方法	画面で見るマニュアル参照先
バックアップ (履歴差分バックアップ)	データバックアップ → バックアップ → 追加	【バックアップする】
フォルダー構成を保持したデータコピー	データバックアップ → データコピー → 追加	【データコピー】
USB メモリーのデータを自動コピー	(初期設定) USB ポート 1 につなぐ	【クイックコピー】
別の HDD に複製 (ミラーリング)	ボリューム → USB3 → モード設定	【USB HDD を利用したミラーリング】
USB HDD をつなぐ	(初期設定) USB ポート 1 以外につなぐ	【USB HDD を増設する】
USB HDD をフォーマットする	ボリューム → USB2 → フォーマット ※ USB HDD をつないだポート	【USB HDD をフォーマットする】

◇ログ・通知関連

本製品に対する操作の履歴 (ログ) を確認する	情報・ログ表示 → アクセスログ	【アクセスログを確認する】
システム動作の履歴 (ログ) を確認する	情報・ログ表示 → システムログ	【システムログを確認する】
各設定情報を確認する	情報・ログ表示	【本製品の情報を確認する】
メールで各種通知をおこなう	システム → 通知	【本製品の動きを通知する】

◇RAID モード・暗号化関連

RAID モードを変更する 暗号化する	ボリューム → 内蔵 → USB2 → フォーマット	【RAID モードを変更する】 【暗号化ボリュームを作成 / 解除する】
暗号化のためのロックキーを管理する	ボリューム → ロックキー → キーサーバー	【キーサーバー機能】

使う前に

基本的な使い方








便利な使い方

ランプと対処

資料

◇その他、本製品の設定関連

機能（目的）	使用・設定方法	画面で見るマニュアル参照先
HDD にエラーがないか確認する	 ▶  ▶  ボリューム ▶ 内蔵 ▶ チェックディスク  ▶  USB 2.0 ▶ USB2	【チェックディスク】
ネットワーク上の名前変更する	 ▶  システム ▶ abc 名前設定	【LAN DISK の名前変更する】
日付と時刻を設定する	 ▶  システム ▶ 時刻設定	【日付と時刻を設定する】
IP アドレスなどを設定する	 ▶  ▶  ネットワーク ▶ LAN1 ▶ IPv4 LAN1 ▶ IPv4	【ネットワークを設定する】
プロキシを利用する場合の設定をする	 ▶  ネットワーク ▶ プロキシ設定	【プロキシを設定する】
管理者パスワードを変更する	 ▶  システム ▶ 管理者設定	【管理者パスワードを設定する】
電源を切る / 再起動する	 ▶  ▶  システム ▶ 電源 ▶ シャットダウン	【シャットダウン / 再起動する】
起動 / 終了時刻を設定する	 ▶  ▶  システム ▶ 電源 ▶ スケジュール設定	【起動スケジュールを設定する】
停電復帰時に自動で電源を入れる	 ▶  ▶  システム ▶ 電源 ▶ AC電源連動設定	【AC 電源連動設定をする】
電力消費を抑える	 ▶  ▶  システム ▶ 電源 ▶ 省電力設定	【省電力機能を使う】
FUNC. ボタンを無効にする	 ▶  ▶  システム ▶ ボタン ▶ FUNC. ボタン ▶ FUNC.ボタン設定	【各ボタンを有効 / 無効にする】
RESET ボタンを無効にする	 ▶  ▶  システム ▶ ボタン ▶ RESET ボタン ▶ リセットボタン設定	【各ボタンを有効 / 無効にする】
ランプの明るさを調節する	 ▶  システム ▶ ランプ設定	【ランプの明るさを設定する】
正常に動作していることを確認する	 ▶  システム ▶ 自己診断	【本製品の自己診断をする】
ファームウェアの更新設定を変更する	 ▶  ▶  システム ▶ ファームウェア ▶ 更新	【ファームウェアを更新する】

機能（目的）	使用・設定方法	画面で見るマニュアル参照先
本製品を出荷時設定に戻す	 ▶  システム ▶ 初期化	【出荷時設定に戻す】
プリンターを増設する	USB ポート 2 につなぐ	【プリンターをつなぐ】
UPS を増設し、UPS 関連の各設定をおこなう	 ▶  ▶  システム ▶ 電源 ▶ UPS システム ▶ 電源 ▶ UPS設定	【UPS をつなぐ】
Active Directory へログオンする	 ▶  ユーザーグループ ▶ Microsoftネットワーク設定	【Active Directory へログオンする】

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

本製品の容量を増やす

容量を増やすことができるのは、RAID モードが「拡張ボリューム」の場合のみです

他の RAID モードでは、この操作はできません。場合によっては、RAID 崩壊のおそれがあります。

ペアになっているカートリッジや USB HDD を順番に交換し、最終的に両方を交換することで本製品の容量を増やします。

拡張ボリュームとは？（出荷時には拡張ボリュームに設定されています）

動作 それぞれ 2 台の HDD でペアを構成し、ファイル単位でミラーリングします。このようなペアが複数集まり、1つのドライブとして構成されます。

故障時 ペアが A と A' で構成されている場合、仮に A が故障した場合は A' が補完します。A を交換すると、A' から A へ再構築処理を実施します。この時、使われている容量分のみで再構築するため、処理が早く完了します。

容量 ペアの容量を全て合計したものが本製品の容量となります。なお、各ペアの容量を同一サイズにする必要はありません。

構成 カートリッジが 4 つあるため、ペアが 2 つできます。
※ USB ポート 3 と 4 でもペアを作ることができます。USB HDD を片方だけつないだ場合、ミラーリングはされませんが、その容量は合計されます。



準備する

- 現在のカートリッジや USB HDD の容量より大きいものを 2 台準備します。
- 交換するカートリッジや USB HDD のペアを決めます。

交換方法

内蔵 HDD 3 と 4 を交換する場合の例です。

1

[ボリューム] → [内蔵] → [取り外し] をクリックし、ペアの片方を選び実行する
※ USB HDD の場合は、[ボリューム] → [USBx] → [取り外し] をクリック

2

ペアの片方を取り外し、容量の大きいものと交換する
【カートリッジの交換方法】(42 ページ)
※ペアの片方を取り外すと「構成異常」になり STATUS ランプが赤点滅します。速やかに交換してください。
再構築が開始されます。
再構築が終わるまでお待ちください。

構築状況を確認する

[ボリューム情報] で確認できます。
内蔵ディスクの [ステータス] に「正常動作」と表示されたら再構築完了です。
※情報を更新する場合は、再度 [ボリューム情報] を開き直してください。

3

ペアのもう片方について、手順 1、2 の操作をおこなう
再構築が開始されます。
再構築が終わるまでお待ちください。

再構築が終わると、本製品の容量が増えます。

使用前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

万が一に備えて、定期的にバックアップしてください

- RAID 構成が崩壊した本製品のデータを復旧することはできません。事前にバックアップ設定をして、万が一の故障に備えてください。

その他、困ったときには

▼【画面で見るマニュアル】内の【困ったときには】

https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl4-x-u_manual/index.html#p15_1



▼よくあるお問い合わせ

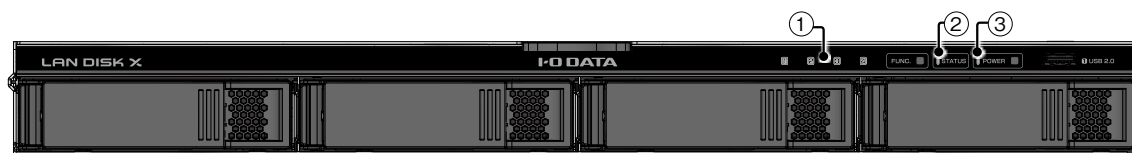
<https://www.iodata.jp/support/qa/landisk/hdlaa/>



故障と思ったら…

「ランプが赤点滅」や「ブザーが鳴った」などの場合は、以下の状況を確認してください。

▼ランプの状態



ランプの種類	ランプの状態	状態の説明
① HDD ランプ	青点灯 (点滅)	正常状態 (アクセス中は点滅)
	赤点灯	RAID 崩壊時 (赤点灯の HDD は正常、赤点滅の HDD が故障)
	赤点滅	該当 HDD が故障
	消灯	該当 HDD が未接続
② STATUS ランプ	緑点灯	正常状態
	緑点滅	システム処理中
	赤点灯	警告レベルのお知らせがある状態
	赤点滅	エラーレベルのお知らせがある状態
③ POWER ランプ	消灯	コンセントにつないでいない
	赤点灯	電源は切 (コンセントにつないでいる)
	緑点灯	電源は入

▼ブザーの状態

「ピー」× 1回 鳴る	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常に起動した ● 内蔵カートリッジや USB HDD を正常に取り付けた ● クイックコピー / ボリューム設定変更 / などに成功した
「ピー」× 3回 鳴る	<ul style="list-style-type: none"> ● DHCP サーバーから IP アドレスを取得できなかった DHCP サーバー設置、固定 IP 設定などネットワークを検討 (詳しくは、【IP アドレスが取得できていない場合】(41 ページ) 参照) ● 内蔵カートリッジを取り付けたが、問題があった (故障や容量不足) ● USB HDD を取り付けたが、問題があった (故障や容量不足、フォーマット形式に対応していない、また、拡張ボリュームやミラーリングでは、USB HDD にデータが入っている) ● 対応していないカメラやメモリーをつないだ (クイックコピーモード) ● クイックコピーに失敗した (ログを確認) ● 設定変更 / 操作に失敗した ● インターネットに接続できなかった <ul style="list-style-type: none"> ・ ルーターとの接続を確認、RESET ボタンでの一部設定の初期化 (方法は【画面で見るマニュアル】参照) ・ インターネット接続しない場合、【画面で見るマニュアル】の【ランプと対処】参照、またはネットワーク設定などを確認
「ピッ」× 3回 鳴る	● フォーマット / チェックディスク / バックアップ / クイックコピーが正常終了した
「ピッ、ピッ」と鳴り続く	● RAID の構成に問題が発生している (内蔵カートリッジの故障など)
「ピーポー」と鳴り続く	● RAID が崩壊した (内蔵カートリッジの故障など)
「ドレミ」と鳴り続く	● UPS が接続されていない / 停電状態 (UPS 警告が有効)
「ピピッ」と鳴り続く	● 警告対象が、使用量制限値に達した (使用量警告が有効)

ランプ・ブザーの状況からどの HDD が故障しているか、RAID 構成は無事なのかを確認します。

まずは、データをできるだけ回収する

本製品にアクセスできる場合は速やかにデータを退避させてください。
本製品にアクセスできない場合は、本製品の電源をいったん完全に切り、再び電源を入れてください。
場合によっては、保存されたデータにアクセスできることがあります。
※弊社ではデータの保証はできません。

故障したディスクを交換する

内蔵ディスクが故障している場合は、カートリッジの交換が必要です。
【カートリッジの交換方法】(42 ページ) をご覧になり、新しいカートリッジに交換してください。
※カートリッジが完全に交換されるまで、データの冗長性は低くなっているか、失われています。速やかにカートリッジを交換してください。

USB HDD が故障している場合は、USB HDD の交換が必要です。
故障した USB HDD を取り外し、新しい USB HDD をつないでください。

RAID が崩壊していたら…

本製品の RAID モードを拡張ボリューム以外に変更していた場合は、RAID 崩壊の可能性があります。
この場合の対処方法は、【画面で見るマニュアル】内の【HDD 故障時の対応】をご確認ください。

https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl4-x-u_manual/index.html#p18_3



IP アドレスが取得できていない場合

本製品起動時に、STATUS ランプが赤点灯し、「ピー」× 3 回鳴った場合は、DHCP サーバーから IP アドレスを取得できていません。
以下の対処をお試しください。

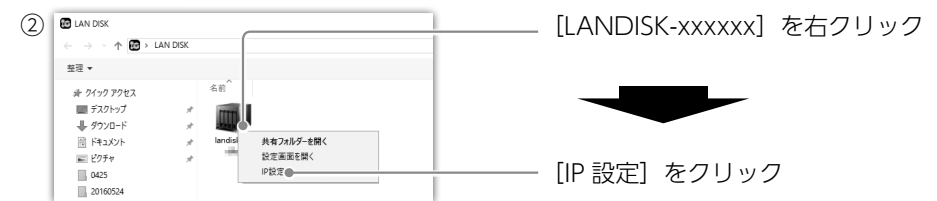
- 1 LAN ケーブルを抜き差しする
- 2 本製品を再起動する
- 3 本製品の IP アドレスを固定設定する
以下の方法を参考にしてください。

IP アドレスを固定設定する

設定する IP アドレスは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
※他にも設定方法はありますが、代表的な方法をご案内しております。

【Windows の場合：LAN DISK コネクトで設定する】

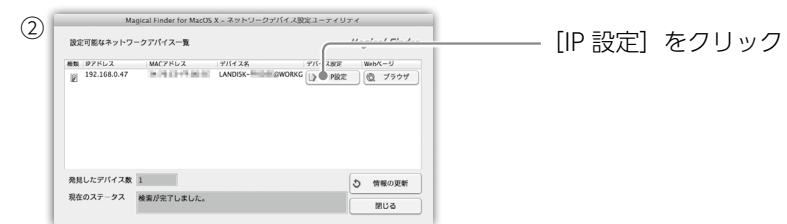
- ① デスクトップ上の [LAN DISK] をダブルクリック



- ③ 画面の指示にしたがって、固定の IP アドレスを設定する

【macOS の場合：MagicalFinder for Mac で設定する】

- ① インストールした「Magical Finder」を開く



- ③ 画面の指示にしたがって、固定の IP アドレスを設定する

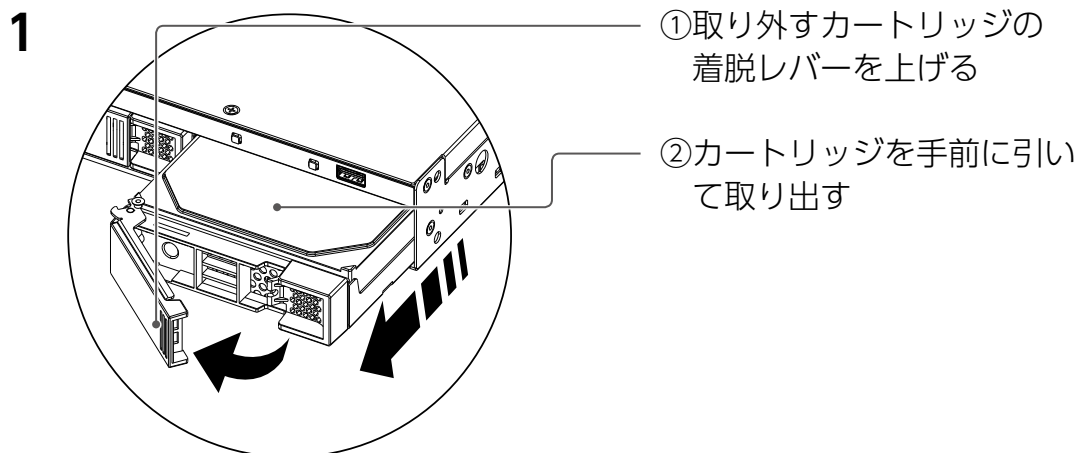
カートリッジの交換方法

カートリッジ交換時のご注意

- 本製品のカートリッジは、故障時以外には取り外さないでください。不用意に取り外すと冗長性が失われたり、RAID 構成が崩壊してすべてのデータを失う危険があります。
拡張ボリュームで容量を増やす際は、記載された手順にしたがってください。
【本製品の容量を増やす】(36 ページ) 参照
- 本製品の電源が入っている状態でカートリッジの取り付け / 取り外しをおこないます。このとき、STATUS ランプの点灯状況や、該当カートリッジの HDD ランプが赤点滅もしくは消灯していることを確認した上で取り外してください。
- カートリッジの取り付け・取り外しは、必ず 1 台ずつ、以下の説明通りにおこなってください。

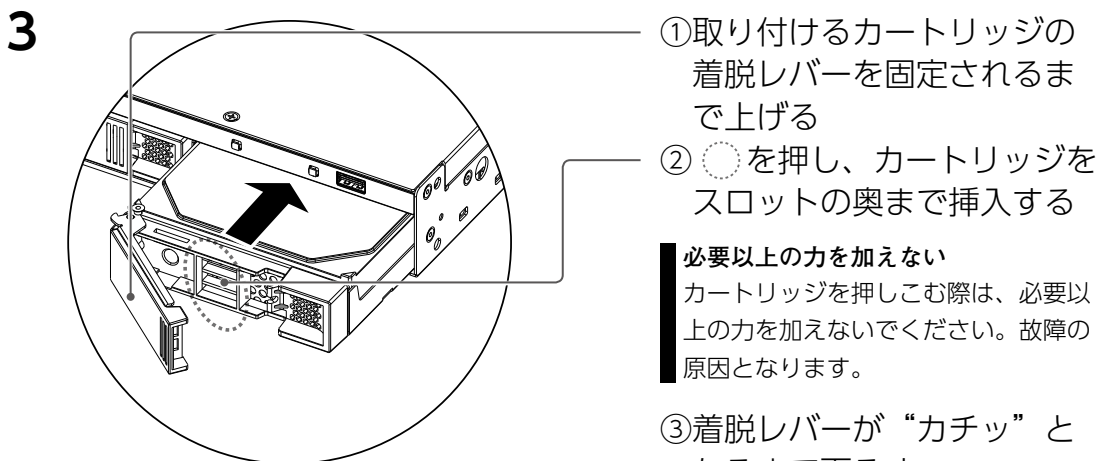
対応カートリッジ

対応カートリッジについては、【オプション HDD、対応 HDD/UPS】(9 ページ) をご覧ください。



- ①取り外すカートリッジの着脱レバーを上げる
- ②カートリッジを手前に引いて取り出す

2 本製品の電源が入っていない場合は、電源を入れる



- ①取り付けるカートリッジの着脱レバーを固定されるまで上げる
- ②○を押し、カートリッジをスロットの奥まで挿入する

必要以上の力を加えない
カートリッジを押しこむ際は、必要以上の力を加えないでください。故障の原因となります。

- ③着脱レバーが“カチッ”となるまで下ろす

資料

添付ソフトについて

本製品の使用には必須ではありません。必要に応じてダウンロードしてください。

使用方法については、各ソフトのマニュアルをご覧ください。

弊社 Web ページ「サポートライブラリ」から、ダウンロードできるソフト

▼サポートライブラリ

<https://www.iodata.jp/lib/> ※本製品の型番で検索してください。

ソフト名	詳細
EasySaver 4 LE	多彩な機能でカスタマイズして、バックアップを設定できます。
Sync with	フォルダー間を定期的に同期します。簡単なバックアップもできます。
LAN DISK Admin	LAN DISK を複数台導入した場合の設定を一括で管理することができます。
LAN DISK Restore	設定データをコピーして流用することで、複数台導入時の初期設定を省力化することができます。
LAN DISK Key Server	ボリュームの暗号化機能により USB メモリーに保存されたキーをサーバー上に保存して、このサーバーをロックキーの代わりとして利用するソフトウェアです。本製品の起動の度にロックキーを接続する作業が不要になり、ロックキーを安全な場所に常に保存しておくことができます。
LAN DISK Backup Reader	本製品が故障し、専用フォーマットの USB HDD からバックアップファイルが読み出せない場合に、パソコンからデータを読み出すことができます。
Sight On	メールソフト感覚の簡単操作で、ユーザーによるファイル更新を知ることができます。ファイル更新時にポップアップで通知します。

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

アフターサービス

重要

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー (<https://www.iodata.jp/privacy.htm>) に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせについて

1 お問い合わせいただく前に以下をご確認ください

▶ <https://www.iodata.jp/support/>

- ① 「Q&A よくあるご質問」を参照
- ② 最新のソフトウェアをダウンロード



2 それでも解決できない場合は、サポートセンターへ



電話 ▶ **050-3116-3025**

受付時間 9:00～17:00 月～金曜日
(祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく)

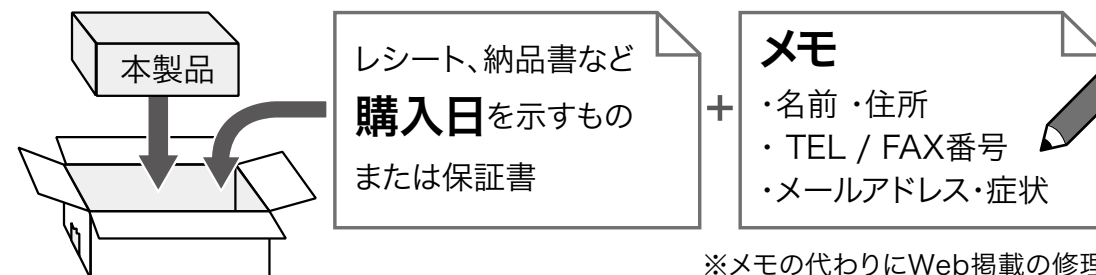
メール ▶ <https://www.iodata.jp/support/after/esupp.htm>



保証期間 **3** 年間

修理について

以下を梱包し、修理センターへお送りください



※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

※厳重に梱包してください。

弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。

※紛失をさけるため宅配便でお送りください。

※送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担です。



【見積無料】有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいてから、修理いたします。

【データ】内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。

【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。

【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。

【控え】製品名とシリアル番号(S/N)はお手元に控えておいてください。

【修理について詳しくは】以下のURLをご覧ください(修理依頼書はここから印刷できます)。

▶ <https://www.iodata.jp/support/after/>

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、ハードウェア保証書をご提示いただく事によりそこに記載された期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは弊社が提供する最新のファームウェア、またはソフトウェアを適用した本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。

- 1) 保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
- 2) 修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
- 3) ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、ご購入日等〔但し、ご購入日欄については、保証期間が無期限の製品は除きます。〕）が未記入の場合または字句が書き換えられた場合
- 4) 中古品でご購入された場合
- 5) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- 6) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
- 7) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
- 8) 取扱説明書等に記載の使用法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- 9) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
- 10) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
- 11) 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 12) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
- 13) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

- 1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品とご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- 2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- 3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
- 4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

- 1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
- 2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
- 3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。

Our company provides the service under this warranty only in Japan.

【使用ソフトウェアについて】

本製品には、GNU General Public License Version3（GPL v 3）に基づいた、ソフトウェアが含まれています。

変更済み GPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以下の Web ページをご確認ください。

<https://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.ja.html>

これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、別段の定めが無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだ使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

HDL-X-U シリーズ LAN DISK 管理マニュアル 2018.12.14
発行 株式会社アイ・オー・データ機器

【マニュアルアンケートはこちら】



よりよいマニュアル作りのため
アンケートにご協力願います。

型番	HDL-X-Uシリーズ
保証期間	ご購入日より 3 年間有効です

☆ お 客 様	ふりがな	
	お名前	様
	TEL () -	
	〒□□□□-□□□□ ご住所	

「ハードウェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。記入漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。販売店欄は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。また、本保証書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

販 売 店	ご購入日	
	住所・店名	
	TEL () -	

ご販売店様へ

- お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご記入日欄に記入し貴店名/住所、貴店印をご記入ご捺印ください。
- 記載漏れがあると、保証期間内でも無償修理が受けられません。

取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社(修理センター)にご依頼ください。



【技術動向、導入事例などについて】

次のサイトに、弊社製ネットワークハードディスク (NAS) 「LAN DISK シリーズ」に関するホワイトペーパーを掲載しています。必要に応じてご確認ください。

<https://www.iodata.jp/biz/whitepaper/>

【保守サービスのご案内】

アイオー・セーフティ・サービス (ISS) は、本製品をより長く安心してご利用いただくために、万が一の場合の保守を実施する有償保守サービスです。

設置から、故障時の交換、ハードディスクのデータ復旧まで充実のサービスをご用意。ワンストップでのサービスをご提供いたします。

<https://www.iodata.jp/biz/iss/tokusetsu/>



進化する明日へ Continue thinking

株式会社 **アイ・オー・データ機器**

<https://www.iodata.jp/>